

## 今年の目標、来年の目標

千葉 祐太君

(登別明日中等教育学校1年生)



あと少しで2007年も終わります。この年はいろいろなことがあったと思います。

僕は、毎年初日の出のときに目標を決めています。

2007年の目標は、『楽しむ』でした。これは、そのときには小学6年生だった僕が、残り3カ月の小学校生活、4月から始まる中学校生活を楽しめるようにと決めた目標でした。

僕は、2007年を振り返って、その目標を達成することができたと思います。

僕は、2007年4月に登別明日中等教育学校に入学しました。最初は不安もあったけど、入学して半年たったころには、部活や友達、勉強にとっても楽しめるようになりました。だから僕は、2007年の『楽しむ』という目標は達成できていると思います。そして、来年に向けて新

しい目標をつくりたいと思います。

2008年の目標は、『優しさ』にしたいと思います。来年入学して来る新入生に優しくする事ができるように、そして、僕はほかの人に少し冷たいので、優しくできるように。2008年も目標達成に向けて頑張りたいです。

## 喜ばれた慰問の感動

児島 姫子さん (富士町)



去る11月9日(金)、なかまち会幌別分会のカラオケ仲間17人で、恵寿園に行き、得意の歌を披露しました。

恵寿園の皆さんは、じつと耳を傾けてくれたり、昔懐かしい歌には口ずさみながら手拍子を送ってくれたりして、その姿を目にしたわたしたちは感激が込み上げてきました。

恵寿園の方も3人が歌を披露してください、その美声の若さには、大変感動しました。園内に響き渡る皆さんの暖かい拍手は、今なお記憶に残っています。

一時間半の慰問が終わり、帰り際に手を握り、目に光る涙をたたえ

「またぜひ来てください。来年の今日を楽しみに待っています」と言われたときは、わたしたちも「来て良かった。こんなにも喜ばれ、来年も待ってってくれるんだ。その期待に応えよう」と気持ちが高まりました。

なかまち会のみんなも、恵寿園の方々と年齢はあまり変わりませんが、喜んでくれたこの感動を決して忘れずに、これからも体力が続く限り、慰問を続けたいと思っています。

今年も異常気象や事件・事故が世の中を騒がせましたが、平成20年が明るく、輝かしい、夢多い感動あふれる一年であることを祈っております。

## 世界に目を向けて

安居 綾香さん

(登別明日中等教育学校1年生)



最近では国際性豊かな社会となったわたしの通う学校では、外国に目を向けた活動をしている。

わたしが今、特に注目していることは、『貧困国』だ。アフリカ大陸や南アメリカ大陸にあるが、たくさ

んの国が支援をしている。

わたしは、インターネットや本などでたくさんを知った。今まで知らなくて、初めて知ったこと。それは、『水問題』だ。これについては、深く考える必要があると思う。

これは、貧困国でよくある問題だ。そこでは、汚染された水を使用している。この水は、体を洗ったり、飲料水にも使用したりしている。

わたしたちは、何不自由なく暮らしていて、水道から汚染された水も出てこない。そして、水について考えることなどない。

わたしは、このことを知り、水を大切にしようとした。わたしたちが水を普通に使用していても、きれいな水を求めている人はたくさんいる。

これからの2008年、わたしは世界に目を向けた生活をしていきたいと思う。この世界の誰もがきれいな水を飲めるように。



▲幌別浄水場取水口